



平成28年3月30日

各 位

上場会社名 **アンリツ株式会社**  
代表者 代表取締役社長 橋本 裕一  
(コード番号 6754 東証第一部)  
問合せ先責任者 取締役 執行役員 CFO 窪田 顕文  
(TEL 046 - 296 - 6507)

### 平成28年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月30日開催の取締役会において、平成28年1月28日に開示した平成28年3月期の業績予想を次のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正 (IFRS・平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成28年1月28日 発表)	98,000	7,200	7,000	5,000	5,000	36.40
今回修正予想 (B)	95,500	6,000	5,300	3,500	3,500	25.48
増減額 (B-A)	△ 2,500	△ 1,200	△ 1,700	△ 1,500	△ 1,500	—
増減率 (%)	△ 2.6	△ 16.7	△ 24.3	△ 30.0	△ 30.0	—
(参考) 前期実績 (平成27年3月期)	98,839	10,882	11,591	7,874	7,857	55.72

#### 2. 修正の理由

当社グループは、平成28年3月期第3四半期決算発表時(平成28年1月28日)に、スマートフォン市場の劇的な構造変化を背景として、主力の計測事業及びグループ連結業績の通期見通しを下方修正致しましたが、アジアにおける端末製造市場の縮小とそれに伴う主要プレーヤーの投資抑制及び北米市場における基地局建設需要の低迷は第4四半期においても引き続き強まっており、受注・売上が更に下振れる見込みとなっています。また、円高の急激な進行により、第4四半期において為替差損5億円を金融費用として計上する見込みです。

この状況に対処するために、組織のスリム化策にも一段と取り組みました。ついては、計測事業の売上収益を25億円、海外子会社のリストラ費用2億円を含んで営業利益を12億円下方修正します。

税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、営業利益の修正、金融費用の計上の影響を織り込んでそれぞれ修正しております。2016年度税制改正に伴う法定実効税率の変更による繰延税金資産取り崩し(3億円)の影響は、前回修正時に織り込んでおります。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間24.00円を予定しております。

(参考)

セグメント別売上収益の予想(平成28年3月期通期連結)

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) <small>(平成28年1月28日発表)</small>	今回修正予想 (B)	増減額(B-A)	増減率(%)	前期実績
売上収益	98,000	95,500	△2,500	△2.6	98,839
計測	70,000	67,500	△2,500	△3.6	73,443
プロダクト・ クオリティ・ アシュアランス	19,000	19,000	-	-	16,198
その他	9,000	9,000	-	-	9,198

セグメント別営業利益の予想(平成28年3月期通期連結)

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) <small>(平成28年1月28日発表)</small>	今回修正予想 (B)	増減額(B-A)	増減率(%)	前期実績
営業利益	7,200	6,000	△1,200	△16.7	10,882
計測	6,000	4,800	△1,200	△20.0	8,943
プロダクト・ クオリティ・ アシュアランス	1,200	1,200	-	-	824
その他	0	0	-	-	1,115

(注)「その他」には、セグメント情報における「その他」と「調整額」を合わせて表示しております。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。